

くりやま ぎかいだより

No. 167

2021年(令和3年) 5月1日
発行/北海道栗山町議会



みんなで食べるとおいしいね！
こども園でお昼ごはん (2021.4.2)

重大報告 - 議会報告会瓦版 -	2
令和3年度予算審査	6
第3回議会定例会	10
陳情審査 - 議会運営委員会 -	14
ギカイの見方 - 委員会レポート -	15
7人の議員が一般質問	16

あなたの声をこれからのまちづくり

議公報生口公〔瓦版〕

例年、2～3月に開催している「議会報告会」ですが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。
そのため、ここで報告内容を掲載します。

吉

町政の課題

病院整備方針の策定

病院整備方針の策定については、令和2年9月に「栗山町病院整備方針の策定等に関する調査特別委員会」を設置し、整備方針の策定経過及び資料について担当者からの説

明・質疑を重ねた。特に整備方針の根幹をなす策定項目の「診療科」「病床数」「概算事業費及び費用負担」「建設場所」については、重点的に調査を行った。

【特別委員会の

審査結果】

栗山町の病院整備については、先に提案された栗山町病院整備方針策定委員会による方針案に沿って進められたい。なお、整備に当たっては、以下の点について留意をされたい。

① 栗山赤十字病院は、町民の要望を受けた病院運営がなされるよう日本赤十字社、又、栗山赤十字病院と常に緊密な連携を図ること。
② 地域医療の中核として町内における病診連携のさらなる強化、急性期患

者に対応する消防署との連携充実、そして、地域包括ケアシステムの一員として医療・介護・保健・福祉との連携強化を図ること。

③ 病院整備においては、補助金を含め将来長期にわたって町財政と関わることから財政推計に基づき、計画的な支出を行うこと。

④ 建替え後、数十年にわたり使用することから、異常気象や地震など災害に強い構造及び性能・機能を備えた建物になるよう配慮すること。



町には提言書も提出された



コロナ対策予算と実績



コロナウイルス感染症の影響で廃業となった法人の資産を活用し、事業拡大等に挑戦する法人に対し事業初期費用の500万円を補助上限とする「スタートアップ支援事業」について、本会議での増額補正予算提案時、議場で活発な議論が交わされた。

その他のコロナ対策も注視していた。主な事業予算は下表のとおりとなっている。



スタートアップ支援事業により活用された資産

【賛成】
交付金を有効活用し町の産業を一定程度振興するということは納得できるが、補助金を活用することは町民への還元が大前提となる。事業内容をしっかりと確認した中で、産業振興の一助として推進していただきたい。

【反対】
廃業や倒産への支援は必要と思うが、多くの町民に対して公平になるよう交付金を使っていくべきと考える。
事業者に対しては、本来であれば、廃業や倒産を無くすための策を行うべきと考える。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

総額 7億8,431万円

主な事業と実績見込

No.	事業名	予算額
1	経済環境変化対応資金利子及び保証料補給に係る基金造成事業	1億1,805万円
2	学校施設環境改善事業（空調設備整備）	7,414万円
3	くりやま地域応援券発行事業	4,183万円
4	休業協力・感染リスク低減支援金	2,700万円
5	学校給食費無償化事業	2,035万円

※予算金額は、単位を「万円」とし、おおよその金額を掲載しています。（千円以下は切り捨て）
※1人10万円を個別に支給した、特別定額給付金事業分は除いています。

タブレット端末の導入

タブレットによるオンライン会議アプリ及びペーパーレス文書共有システムの活用により、災害状況下においても議会機能を維持す

るとともに、省資源化による行政コスト及び環境負荷低減と働き方改革を推進することを目的として、タブレット端末を導入した。

【導入に至った経緯】

平成27年9月に持続可能な開発目標（SDG S）が国連サミットで採択され、取組を進める中で、栗山町議会としても省資源化による環境負荷低減を目指すこと。また、平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震の際、道内全域的停電により、身をもって災害が発生した際、議会における災害対応の必要性を実感したことから、タブレット端末の導入に向け検討を進めていた。

令和2年には、新型コロナウイルス感染症が日本を含むアジア地域のみならず、世界的に猛威を振るうなか、会議や研修

等の開催方法の変容が求められた。緊急事態宣言等、人との接触を避けなければならない状況が続くなかでも、議会機能を維持することが重要であることから導入を決めた。



数年後の完全ペーパーレス化を目指す



導入したタブレット端末



現在は紙資料と併用して活用している

四

議会の課題

報酬と定数・ なり手問題

平成31年4月の改選時、前回の改選から2年連続で無投票になったことを受け、議員の報酬と定数・なり手問題について調査を進めてきた。

令和2年も、新型コロナウイルス感染症の影響により予定に比べ少ない回数にはなったが、議会モニターとの意見交換や参考人を招致し話を聞く等の調査を行った。

【議会モニターより】

- ・自分が議員だったらと考えると報酬は低い。
- ・議員は社会貢献をすることが大切なので、現状の報酬のまま奉仕の心で頑張ってもらいたい。
- ・栗山のまちのことを語る若者が少なくなった。
- ・議員の仕事内容の情報が少ないので「道しるべ」になるような取り組みがあるとうい。
- ・町民へ向けて一生懸命やっている、というアピールが必要。
- ・議員の役割が変化しているように感じる。
- ・報酬を上げるだけではなり手不足の解消につながらない。
- ・議員報酬を上げることにについては町財政との対比が大前提。



モニターとの会議では積極的な意見交換が行われた



他

ご意見・ご要望を募集します

議会報告会〔瓦版〕の内容や議会活動等についてご意見・ご要望を募集します。方法は3つあります。たくさんのご意見お待ちしております！

■方法1■ 折り込みハガキで送る

折り込みしている「\議会報告意見募集/」と書かれたハガキ用紙を使って意見・要望を送る方法です。ハガキの使い方は用紙をご覧ください。

■方法2■ 公式 Facebook からコメントする

栗山町議会公式 Facebook のコメント欄にコメントする方法です。Facebook の議会報告会記事のコメントが対象となります。

栗山町議会
公式 Facebook QR



■方法3■ 電子メールで送る

議会事務局宛での電子メールで送る方法です。送る際には、住所・氏名・年齢・電話・性別と意見や要望を記載のうえ送付してください。電話などで内容の確認をさせていただく場合があります。

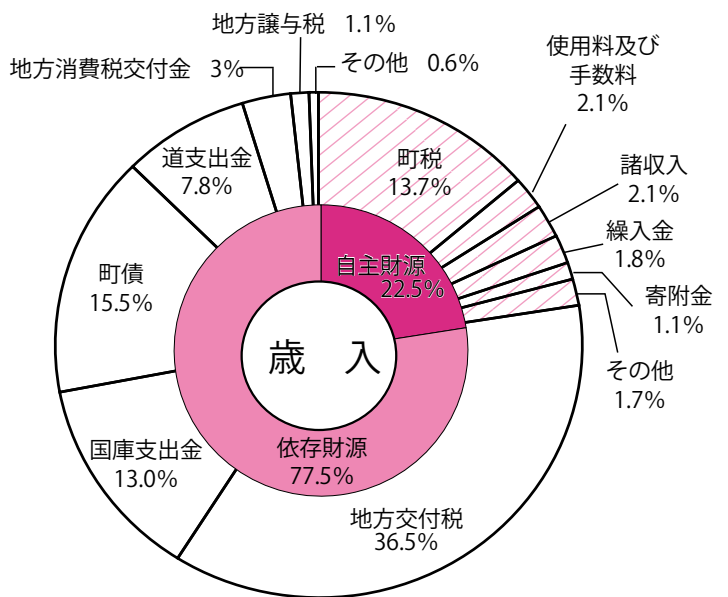
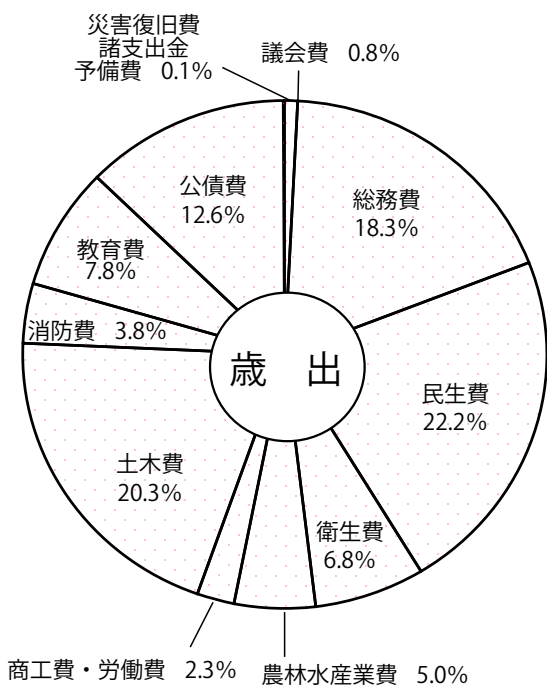
メールアドレス：gikai-jimukyoku@town.kuriyama.hokkaido.jp

予算総額 約 140億5,030万円

(前年比 + 8,448万円 : + 0.6%)

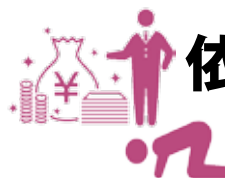
一般会計	88億1,200万円 (+ 1億7,400万円 : + 2.0%)
特別会計	33億3,170万円 (△ 5,063万円 : △ 1.5%)
事業会計	19億660万円 (△ 3,888万円 : △ 2.0%)

一般会計予算内訳



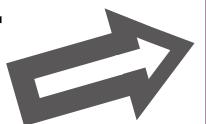
* 依存財源とは

自治体が自由に使えるお金（一般財源）のうち、国から与えられるお金のこと。



依存財源*

昨年と比べて…
上昇



詳しい予算状況については、冊子「知っておきたい！まちの予算」をご覧ください。

この冊子は、下記施設に配置しているほか、町HPにも掲載されています。

- ・役場新庁舎1階ロビー
- ・カルチャープラザ「Eki」
- ・角田農村環境改善センター
- ・総合福祉センター「しゃるる」
- ・図書館
- ・南部公民館



町HP予算概要QR

「ふるさと栗山」創生へ

主な事業予算

※予算金額は、単位を「万円」とし、
おおよその金額を掲載しています。(千円以下は切り捨て)



新規事業

- 栗山駅南交流拠点施設整備
2億9,650万円
- ケアラー（介護者）支援事業を
実施します
232万円

- デジタル防災無線を整備します
697万円
- ふじスポーツ広場の設備を更新します
430万円
- 角田地区に防犯カメラを設置します
41万円
- ICT教育を推進します
396万円



継続・拡充

- 新たな観光推進体制の構築に取り組みます
964万円
- 道央廃棄物処理組合による広域焼却
処理施設整備を円滑に推進します
1億9,258万円
- 中心市街地区（中央1～3丁目）の
再開発事業を実施します
※うち、栗山駅南交流拠点整備費用を除く
3億7,600万円

ささき まなぶ 佐々木 学 町長



町民の皆さんにしっかり発信し、
安心感をもっていただきたい

総括

町長 感染状況や経済の影響を見ながら、必要であれば基金からの繰入れを積み増ししても対策を実施していきたい。

議員 町村は国や道の対策を受けながらも、自ら政策をつくっていくと思うが、補正の今後の見込みやペースは。

町長 新たな対策が必要な場合は、コロナ禍関連の基金などにより対応を考えている。今後も時期を逸せず対策を講じていく。

議員 新型コロナウイルス対策として補正予算で対応してきたが、令和3年度予算に弾力性はあるか。

予算の弾力性は

予算の要点は

議員 定住促進・駅南交流拠点施設・都市再生整備・ケアラー支援の4事業の関連予算は大幅に増額措置されているが、その他は抑制されていると感じた。令和3年度予算の要点は。

町長 厳しい財政状況を踏まえ、選択と集中の徹底を図りつつ、総合計画の重点施策や公約政策を中心に予算組みを行った。選択と集中は事業を抑制することではなく、政策評価に基づいた改善・見直しを反映させるという趣旨で、それぞれの事業で必要額を計上している。

ごみ処理組合負担金 1億9千万円 (道央廃棄物処理組合負担金)



★予算審査特別委員会の中で、議員が「きになる！」と質疑をしたものについて抜粋して紹介します。すべての質疑については、議云HPで録画配信を行っておりますので、そちらをご覧ください。

令和3年度予算「コ」がきになる！

鈴木議員 ケアラー支援事業の中の高齢者等居場所づくり事業の具体的な内容は。

福祉課長 現在、栗山地区ではケアラーズカフェという形で社会福祉協議会が運営している。その他自主事業で行っている、富士地区・角田地区・継立地区の居場所づくり事業について運営経費の2分の1を助成する。

藤本議員 道央廃棄物処理組合の焼却施設が令和6年利用開始というスケジュールだが順調か。また、町の負担金が当初の予定と比べてどうか。

金額よりも下がって落札された。

それを踏まえ、焼却施設建設にかかる経費の本町負担分は概算で、令和3年が1億9千万円。令和4年が4億4千万円。令和5年が4億7千4百万円。令和6年は利用開始され3百万円程度と予定している。

環境政策課長 工事の進捗状況については順調に進んでいる。令和元年に発注され、予定

高齢者等居場所づくり事業 130万円





さいとう よしたか
齊藤 義崇 議員

今後の財政見通しについて、
わかりやすい情報発信を

中長期的な
財政方針は

議員 行政コストは増加の一途をたどり、将来負担も増加に転じた。多くの政策を展開する一方、依存財源を原資とした予算編成に見える。中長期的な観点から財政措置とその方針は。

町長 有利な起債制度の活用、ふるさと納税による自主財源の確保などにより施策を推進してきました。今後も施設の長寿命化対策など新たな対策も講じながら、町政の健全性と将来への投資、この両立を図りながら運営していく。

議員 上手く借金をしながら事業を展開していくことは必要だが、行政コストが上がっているのは

質
疑

事実である。それについて、今後の見通しは。また、過疎債などの今後の考え方は。

町長 行政コストを上げているのは、義務的経費（人件費・公債費・扶助費）の部分。現状を維持することは可能だが、抑えていくということは難しい。過疎債はしっかりと財政を維持安定しながら、財源確保のため活用していく。

議員 町民にわかりやすいように、財政状況を発信していただきたい。

町長 町民の皆さんに安心感を与える情報発信は非常に重要なこと。大きな投資が続く、心配の声も聴く。しっかりと発信していきたい。

歴史的建造物活用検討会議委員等謝礼
21万3千円



三田議員 歴史的建造物活用検討委員会について、3年前に小林酒造の赤レンガ倉庫（五番蔵）を95%助成で直し、活用を検討しているということだが、その内容は。

経営企画課長 一昨年度に改修した五番蔵の活用策を検討委員会で有識者も含めて議論をしてきた。現時点で、

維持・改修に係る経費等あり、具体的な方向はまだ決まっていない。

仮に、不特定多数の方が中に入るような利用をする場合、耐震等の実施に概算で5千万円近い経費がかかる。また、小林酒造が新工場の整備構想や敷地全体を含めた全体構想もあるということなので、引き続き活用について議論を深めていきたい。

コンビニ収納手数料
68万1千円



千葉議員 コンビニ収納ができるようになり利便性は高まったが、クレジットカード収納や電子マネー収納についてはどうか。

税務課長 本年2月1日より、スマホ収納ができるように改良した。クレジット収納は、現状の税収納システムが対応していないこと。手数料が、コンビニ・スマホ収納は1件58円に対し、クレジット収納は1万円以下1件100円・1万円を超えるものは金額の1%と高額であるため、当面クレジット収納は考えていない。

3月定例会

3月2日～19日

¥

補正予算（令和2年度分）

補正後予算総額 109億8,054万円（△9,952万円）

予算を追加した主な事業

事業名	補正額
地域集会施設建設補助金（北学田中央公民館の修繕）	157万円
栗山赤十字病院救急医療体制等確保事業	12万円
栗山町集落再編成奨励金交付（阿野呂地区2つの農事組合が統合）	8万円
民間バス路線維持負担金（北海道中央バスの運行実績）	501万円

¥

補正予算（令和3年度分）

新型コロナウイルス感染症対策

1億7,603万円

追加

予算を追加した主な事業

事業名	補正額
児童福祉施設空調対策事業 (子育て支援センター・児童センター・発達サポートセンターにエアコンを設置)	935万円
施設従事者等に対する新型コロナウイルス感染症検査費助成事業 (高齢者施設、障がい者施設、児童福祉施設、医療機関、学校従事者、妊婦等を対象に抗原定量検査費用を助成)	1,120万円
中小企業等事業継続給付金事業 (売上の減少が前々年同期比で20%以上の減少率となる中小企業者等に対する事業継続のための支援)	4,930万円
くりやまプレミアム付商品券発行事業 (30%のプレミアム付商品券1万円分5,000セットの発行を支援)	1,400万円
学校給食費無償化事業 (令和3年度の1学期と2学期分の学校給食費を無償化)	2,474万円
水道基本料金減免事業 ※水道事業会計への負担金 (経営に支障が生じている事業者の経済的支援として実施)	1,320万円
栗山町大学生等生活支援給付金事業 (町内に住所を有する大学生・短大生・専門学校生等又はその保護者を対象に、就学及び生活を支援するための給付金を支給)	1,061万円

※補正予算金額は、単位を「万円」とし、おおよその金額を掲載しています。(千円以下は切り捨て)

質

疑

三田議員 民間バス路線維持負担金が、当初553万1千円で、今回501万5千円を追加し約2倍となっている。理由は。

齊藤議員 コロナ対策について国からの交付金を除いた町の負担はいくらの見込みか。

まちづくり総括 コロナ禍の影響もあり、例年以上に利用人員が減っていることが原因と考えられる。また、コロナ対策の部分も計上経費として増額したため、額が大きくなっている。

バスの運行については、関係市町と中央バスを含めて検討しており、今後も協議を進めていく。

まちづくり総括 国からのコロナ対策に係る臨時交付金は、第1次から第3次までの合計で5億8294万6千円が交付されたところ。コロナ対策事業には交付金事業以外も含め、総額約20億円の補正となっている。

交付金対象事業に限ると約7億8千万円程の事業費となり、町の負担分は1300万円を予定している。

総務費においてコロナ対策により21億円近い額を補正してきたが、町の負担はそれほど大きな額ではないと見込んでいます。



商品券の販売は感染症対策を行いながら実施された（前回の販売：令和2年9月）

鈴木議員 プレミアム付き商品券発行事業について、実施時期はいつ頃か。

鈴木議員 大学生等の生活支援給付金で、対象に保護者も含まれるが、本人が転出しても対象か。

まちなか賑わい推進室長

学校教育課長

くりやまギフトカード加盟店会が主体となって行う事業となるので、今後調整を行う計画となっているが、現状、9月頃の予定となっている。

考え方については、柔軟に考えているところ。町外に転出されている大学生等の把握は課題となっている。申請行為になるので、申請の段階で柔軟に対応していきたい。

その他の補正予算

国民健康保険特別会計

事業名	補正額
国民健康保険システム改修に伴う北海道国保連合会負担金	1万円
高額療養費（実績による追加）	500万円

後期高齢者医療特別会計

事業名	補正額
後期高齢者医療保険料 （実績による追加）	274万円

北海道介護福祉学校特別会計

事業名	補正額
講義数の減に伴う非常勤講師報酬	△40万円

下水道事業会計

事業名	補正額
下水道管理センター機器 長寿命化事業 （国の交付金内示額が要望額より 少なかったことに伴う減額）	△5,652万円

※補正予算金額は、単位を「万円」とし、おおよその金額を掲載しています。（千円以下は切り捨て）



市町村では全国初！

ケアラー支援条例成立

1月22日行われた臨時会で提案された「栗山町ケアラー支援条例」は、担当である産業福祉常任委員会へ審査を託すことになり、審査を進めていました。また、参考人として、栗山町ケアラー支援推進協議会の吉田義人氏からも意見を聞きながら、3月11日の委員会で、常任委員会としての結論を決定、3月19日の定例会で委員会の決定を報告し、全員賛成で可決されました。

条例趣旨

近年、超高齢化の進展により、誰もが介護の担い手になりうる時代を迎えている。

本町でも、家族の介護や看護を無償でする方々、いわゆる「ケアラー」が900世帯以上で存在しており、先の見えない介護の中、心身の不安や社会的孤立、離職、虐待など、様々な困難に直面している。

また、高齢者だけではなく、障がいや病気を持つ家族の世話をする児童など、若年層の介護者も増加している中、介護者への社会的支援に向けた法整備がなされていない状況にある。

このことから、将来にわたり、多くの介護者が日常生活や心身の不安を抱えることなく、また、地域から孤立せず、安心して介護、看護することができ、地域づくりを目指し、これまでに先駆的に進めてきた取組をさらに充実し、福祉のまち栗山の町民総意で推進するため、新たに本条例を制定する。

常任委員会報告

可決すべきと決定

【要旨】

ケアラー支援条例は形式的な条例であってはならないと考えるので、住民に身近な条例として認知されるよう取り組まれない。

具体的には、ケアラー支援推進計画の中で福祉課のみならず、庁内の横断的組織づくりにより、栗山町社会福祉協議会、栗山町民生委員・児童委員協議会、栗山町連合町内会、町内ボランティア団体等と連携を密にとりながら、ケアラーを支援できる体制の構築とケアラーの悩みや相談に有効な対策が打てるようになる事を期待する。

質

疑

三田議員 条例の中で様々な関係団体との連携について書かれているが、北海道介護福祉学校との連携について、委員会での内容は。

千葉委員長 北海道介護福祉学校との連携は大変意義がある。参考人からも、ケアラーについて学生に対する啓発活動を行うことで、介護福祉士としての自覚醸成へつながるという意見があった。また、授業で取り上げるべきとの意見も出された。

具体的な連携内容については、今後設置される協議会の中で新計画を立てていくことになると思うので、その内容に大きく期待したい。





条例

町村選挙の立候補環境改善へ 選挙費用の公費負担項目拡大

▼栗山町議会議員及び栗山町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

改正公職選挙法により、選挙運動用自動車の使用・選挙運動用のビラ及びポスターの作成に要する費用に関し実費の公費負担が可能となったことに基づく条例の制定。

▼栗山町指定地域密着型サービスの事業人員・設備・運営等に関する条例の一部を改正する条例
▼栗山町指定介護予防支援等の事業人員・運営及び指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する条例の一部を改正する条例

▼栗山町指定地域密着型介護予防サービスの事業人員・設備・運営及び指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援方法等に関する条例の一部を改正する条例

法令の公布による改正。感染症や非常災害の発生時における業務継続計画策定等に関する規定の追加。虐待の発生又はその再発防止のための措置に関する規定の追加など。

▼栗山町公営住宅条例の一部を改正する条例

移転建替えを進めている中央団地の一部が完成したことから、完成した部分を栗山町公営住宅として新たに位置づける。



その他

▼第8期栗山町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

ビジョン…

①生きがいをもちながら、いきいきとした暮らしを続けることができる

②すべての高齢者がいつまでも健康に暮らすことができる

③本人や家族が介護の必要な状態や認知症になっても、その人らしい暮らしを続けることができる

計画期間…3年間
(令和3～5年度)



人事案件

▼公平委員会委員の選任について

令和3年3月24日まで任期満了となる、**坂口由紀子氏**(北学田)を引き続き選任する。
任期…

令和3年3月25日～

令和7年3月24日まで

▼固定資産評価審査委員会委員の任命について

令和3年3月31日まで任期満了となる、**倉橋強氏**(朝日4)を引き続き選任する。
任期…

令和3年4月1日～

令和6年3月31日まで



賛否の公表



解説

賛否の公表

栗山町議会の「あり方」を定めた「議会基本条例」の第4条第6項に「議会は、重要な議案に対する各議員の態度を議会広報で公表する等、議員の活動に対して町民の評価が的確になれるよう情報提供に努めるものとする」と定められています。

「ぎかいだより」では、主に賛否が分かれた議案について、掲載しています。

掲載されていない議案は、すべて全員賛成です。

議 件 名	結果	藤本	大西	友成	佐藤則	土井	佐藤功	千葉	三田	齊藤	置田	鈴木	鶴川
陳情第1号 「日本政府に核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書」提出に関する陳情 ※陳情要旨などは14ページに掲載しています	不採択	/	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	欠

※鶴川和彦議員(議長)が欠席のため、藤本光行議員(副議長)が議長代理として議事を進行了ました。
藤本光行議員は議長代理のため、採決には加わっていません。

陳情審査



解説

「陳情」とは？

町政についての要望や意見を議会に提出するものです。

《陳情第1号》

「日本政府に核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書」提出に関する陳情

要旨

2017年7月7日、歴史的な核兵器禁止条約が国連総会で採択されました。条約では、核兵器について歴史上初めて明文上も違法なものとなりました。栗山町は、「非核・平和のまち宣言」をしています。唯一の戦争被爆国でありながら米国の「核抑止」にしがみつき、条約に背を向けている日本政府の姿勢は許されません。日本政府は、広島・長崎の被爆者をはじめ、被爆国の国民、核廃絶を求める世界の圧倒的多数の声にこたえ、一日も早く核兵器禁止条約に参加・調印・批准することを強く求めるものです。

3月2日行われた定例会で提出された陳情第1号は、担当である議会運営委員会に付託し、審査を進めていました。3月12日の委員会で、参考人からの趣旨説明、質疑、自由討議、委員会として採択・不採択を決定、3月19日の定例会で委員会の決定内容を報告し、採決を行いました。

質疑

齊藤議員 措置を求めるものも、少なからず利益を受けているので、一方的ではいけないと思うが、どのように考えているか。

参考人 命に関わることは、たとえ一方的であっても主張したいと思っている。例えば、10年前、福島原発で53基止まったが停電にはならなかったため、不要なものだったと認識している。日本政府は原発にしがみつき過ぎていて。電気が暗くなったら暗くなつたで、生き方がある。核が無くて、意識変革や工夫で解決できる部分があると思う。今の時代だからという理由で片づけないでほしい。

自由討論

反対

三田議員 本町は11年前に「非核平和のまち宣言」をしている。戦争の願いと思っているが、この陳情の内容は「外交・防衛」に関するものとして認識しているので、本町の陳情としてはなじまないと思う。

賛成

千葉議員 核兵器のない世界は人類が共通して目指しているもの。現在、核保有国は核廃絶の立場に立っていない。日本も唯一の被爆国でありながら、その立場に立っていない。日本は、この条約に批准し、核保有国との橋渡しをしていくことが正しいと考える。また、内容は「外交・防衛」の立場ではなく、「核兵器廃絶」という立場だと理解しているので、十分本町の町益に関連すると考えている。

結果

不採択すべきと決定しました

※全文は、議会HPに掲載されている会議録をご覧ください。

会議録QR →
※作成中のものもありますが、順次更新されます



解説

議会運営委員会に付託

提案された事柄について詳しく検討するため、その内容を担当している委員会に審査を託すことを「付託する」と言います。

ギカイの見方 - 委員会レポート -

総務教育常任委員会・産業福祉常任委員会・広報公聴常任委員会では、毎年それぞれが所管する町政課題について調査を行っており、3月定例会で調査の報告が行われました。



総務教育常任委員会

▼介護福祉学校 経営改善計画の進捗

これからも公立校の優位性や取り組み、奨学制度などの情報発信を精力的に行われない。

今年度は、コロナ禍で計画通りに進めなかったが、学校経営改善計画での取り組みは今後も必要なものであり、更なる取り組みを進められたい。

産業福祉常任委員会

▼学校教育における ICTの利活用

学校ICT関係機器の整備状況は、児童生徒1人1台のタブレット端末や校内LAN配線工事などは、3月中に完了予定であり、まだ活用はされていない。

しかし、既存の電子黒板等は配備されており、現状の活用を栗山小学校と栗山中学校を訪問し、授業参観して担当者から説明を聞いた。視覚に訴えることで授業の理解を深めること、授業に興味を持ちインターネットで調べることは重要であると思う。

今後は、充実したICT環境を子どもたちの学びにどれだけ活かせるかが重要であり、それには教員の支援・育成が必要となることから「栗山町ICT活用委員会」の活動に期待する。

▼新町通り周辺 まちづくり計画

新町通り周辺まちづくり計画は、多額の財政負担を要する一大プロジェクト事業となっている。

(仮称)MARONプラザには、DIY工房と地域コミュニティFM局も予定されており、地域の交流拠点として期待されるが、その具体的な事業収支計画については作成予定となっていない。

当然ながら独立採算が前提となるので、財政の自立に留意して運営に臨まれない。

都市再生整備計画は令和元年に変更したが、その内容について丁寧な住民説明を求めると共に、今後、これ以上事業費が拡大されないよう現在の計画の範囲内での事業実施を求めるものである。

広報公聴常任委員会

▼議会広聴の 実施について

議会報告会は、コロナ禍に対応した開催方法の模索を行ってきたが、出前報告会とともに中止することと決定した。

▼議会の広報誌の編集 及び発行について

今度も、議会モニターの議会だよりリニューアルの意見も取り入れ、先進地の編集技術等を活かしつつ、町民が手に取って読みたいくなる広報誌づくりに取り組むこととする。

▼地域医療の あり方について

特別委員会では、日赤病院の建て替えについて議論を重ねているが、栗山町の一次医療圏の根幹の部分であるので、当委員会としても注視をしている。

いずれにしても、栗山町の地域医療のあり方については、地域住民の福祉向上のためにも今後も議会との充実した討議などを望む。



町政の ここが聞きたい



第3回定例会
録画配信QR

7 議員が一般質問

千葉清己 議員

Q1. コロナワクチン接種の進捗は **A.** 5月開始に向け準備を進める

齊藤義崇 議員

Q1. 不動の滝の整備方針と位置づけは **A.** 維持管理に努める

Q2. これまでの一般質問に対する所感は **A.** 論点明確に議論する

鈴木千逸 議員

Q1. 雪害時の除雪監督体制は **A.** 状況確認し臨機応変に対応する

Q2. Eki連絡通路雨漏りの修繕見通しは **A.** 当面は応急修繕

佐藤 功 議員

Q1. 恒常的な介護人材確保施策は **A.** 介護学校で養成研修を実施

佐藤則男 議員

Q1. 「おくやみコーナー」を設置しては **A.** 現在は考えていない

土井道子 議員

Q1. 図書館で貸出しCDの充実を **A.** ニーズをもとに整備

Q2. 「まちの情報」発信アプリの開発を **A.** 考えていない

置田武司 議員

Q1. 国道234号線拡幅の進捗は **A.** 国に対し引き続き要望する



千葉清己 議員

新型コロナウイルス

Q：ワクチン接種スケジュールは

A：5月接種開始に向け準備を進める

議員 新型コロナウイルスワクチン接種は2月より一部で接種が開始されたがそのスケジュールは未確定となっている。

- ① 栗山町の接種スケジュールを問う。
- ② 優先順位の具体策を問う。
- ③ 接種券送付後の受け付け方法を問う。
- ④ 基礎疾患のある者の把握方法を問う。
- ⑤ 障がい者への接種を問う。
- ⑥ 接種体制を問う。
- ⑦ 副反応をみるための待機時間を問う。また、重大な副反応の場合の医師の確保を問う。
- ⑧ 廃棄物の処理費用は全額、国費負担となるか。
- ⑨ バイアル* 1本で5回分なのか、6回分なのか。

町長 本町においても、65歳以上の高齢者を対象に、4月以降の接種開始に向け準備を進めている。

- ① 4月下旬に接種券を発送し、5月中旬からの接種開始を見込んでいる。
- ② 各年齢区分等における優先順位については、今後検討する。
- ③ 申込専用電話を設置するほか、スマートフォンやパソコンによる予約を活用し、受け付けを行う。
- ④ 予診票により基礎疾患の内容を確認し、医師の問診を経てワクチン接種を行う。
- ⑤ 一般の方と同様の時期に接種を行う。
- ⑥ 医師1名及び看護師3名の体制で実施予定で、土曜日の接種については、派遣により確保している。
- ⑦ 待機時間は30分を予定しており、重大な副反応が出た場合は、応急処置

が行われ医療機関へ救急搬送する。

- ⑧ 感染性廃棄物の処理費用として、120万円の経費を見込んでおり、全額国庫負担となる。
- ⑨ 1本で6回分の接種が可能な注射器を増産中



高齢者から順番に予防接種が実施される

あるが、供給時期は未定。1本で5回分の接種とする場合でも、必要数のワクチンは確保される見込みで、今後のスケジュールに影響はないものと考えている。

* バイアル



バイアルとは、注射器を使って投与する薬剤を入れるための容器で、ガラスもしくはプラスチックでできた瓶にゴムで栓をしたものを指します。ゴムで栓をするため、気密性が高く、薬剤を無菌状態で保存することができます。

また、使用するときもゴム栓に注射器を刺して中身を吸い出すため、フタを開ける必要が無く、容器の中の薬剤を複数回に分けて使用することができるというメリットがあります。



解説



齊藤義崇 議員

Q：整備方針と位置づけは

A：重要な施設として維持管理に努める

議員 不動の滝は北海道自然景観保護区に指定されている。休憩用ログハウス等が完備され、南角田自治会で管理の一部を実施し、主体的に祭典を催している。滝壺へは遊歩道を下りることでは望みましたが、現在は土砂崩れのため、立ち入り禁止となっている。

今後の整備方針と観光拠点としてのどのように位置づけているのか、町長の考えを伺いたい。



土砂崩れにより現在は滝壺を見ることができない

町長 河川の法面が一部崩落して、その改修に多額の費用が見込まれることから、整備を断念した経緯がある。

明治39年に御料地解放を記念して不動尊が祀られ、本町開拓の歩みを感じることができ重要な施設として位置づけている。

今後も引き続き貴重な観光資源として、その維持管理に努めていく。

一般質問

Q：これまでに對する所感は

A：論点を明確化し議論する

議員 地方分権改革後、町村議会議員に政策立案能力の必要性や重要性が叫ばれるようになり、町民からもそれが期待されている。そうした中、行政に対する政策提案や政策要望という形で多くの一般質問が行われてきた。

町長 政策の方向性に関しては、若者定住対策、産業活性化対策など、四つの重点プロジェクトは、次期計画で柱となる事項である。

そこで、これまでに行われた議員の一般質問における政策提案について、次の3点に関して町長の考えを伺いたい。

① 第7次総合計画に向けて、取り組む予定のものがあるか。また代表的な政策に係る現時点での考え。

③ これまでの一般質問に対する所感と議員との議論に対する要望。

パーセント削減を基本目標としているため、適切な管理運営を行いつつ町民と施設のありかたを議論していく。

② 学校教育施設及び社会教育施設の修繕・改築と空き家未利用施設の活用について。

② 5年前平成28年度「公共施設等総合管理計画」を策定した。その計画に基づいた取組みを推進するため本年度中に「個別施設計画」を策定する。保有施設の総床面積20

③ 「第7次総合計画」の策定段階、各年度の政策・施策などの水準を高めるため、課題、論点を明確化して建設的な議論をしていく。





鈴木千逸 議員

雪害対応

Q：悪天候時の除雪監督体制は

A：状況確認し、臨機応変に対応

町長 町の除排雪業務は、建設会社で構成する除雪組合に委託している。除排雪業務実施要領に基づき、各地区を巡回

議員 先日3月2日は猛吹雪の1日だった。幹線道路の除雪も行き届かず、住宅街の枝道では至るところに雪深い吹き溜まりが見受けられた。合間に晴れ間ものぞいたものの翌日3日の朝方まで風雪が続き、朝には自宅前に除雪車の通った後の雪が腰の高さ以上になっていた。このような天候のときは、町道の各所で吹き溜まりが発生し交通上の危険が予測される。町道除雪業務受託業者の皆さんがパトロールをしているとは思いますが、委託業者を取りまとめる立場である町の監督体制、また防災体制はどのようになっていくのかお伺いしたい。



深夜から早朝にかけて除雪作業が行われている

し降雪量がおおむね10センチ以上か10センチ以上と予測される場合、深夜2時から朝7時30分までを基本に除雪作業を実施し、環境確保を図っている。猛吹雪などにおける町の監督体制は、夜間除雪組合に出動指示、日中は直営班が町内を巡回し、担当職員に状況報告後、作業を行う。また、

大雪その他の緊急時は、状況確認し、臨機応変に対応している。防災体制は、職員防災初動マニュアルに基づき、大雪の気象警報発表時に「初期警戒体制」として、関係職員が参集待機する体制を取り、さらに悪化し、災害など発生が予想される場合は警戒段階に対応した配備体制に移行する。

町長 連絡通路完成から約20年経過し、老朽化などにより、平成26年頃から通路天井付近の雨漏りが確認され、その都度補修等に対応してきた。JR線路敷地上のため、町単独工事は難しく、JR北海道への委

議員 室蘭線を跨ぐカルチャープラザEkiの連絡通路は、長い間、雨漏りが続いており、その修繕について、数年前からJR北海道と協議をしているとのことだが、いまだに手つかずのままビニールシートなどによる応急処置だけがなされている。今後の修繕の見通しについて、お伺いしたい。

託が必要となる。今後は、委託に依らない改修方法の検討とJR北海道への修繕要請を引き続き行う。当面は、通行に支障が出ないよう、内部から応急的な修繕で対応していく。



E k i

Q：連絡通路修繕は

A：当面は応急修繕



佐藤功 議員

介護人材

Q：恒常的な人材確保の施策は

A：ヘルパー養成研修を実施している

議員 介護保険は制度開始から20年経過し、介護が必要が高齢者の生活を支える制度として定着している。人口が減少する中で、高齢化は進んでいくことが見込まれ、高齢者の単独世帯や夫婦のみの世帯の増加、認知症の人の増加も見込まれてい



第8期計画では高齢者が健幸に暮らすことを掲げている

る。それに伴い、介護サービス需要が更に増加・多様化することが想定されるなか、地域の高齢者介護をどう支えていくのか、町長に次の点を伺う。

①第7期計画の総体的な評価は。

②第8期計画策定に向け

たアンケート調査で回答された不安要素の解決への施策は。

③恒常的に介護人材を確保するための施策は。

④外出困難者でも認知症予防を在宅でできるようなDVD作成を。

町長 ①高齢化率はおおむね計画通りに推移してきた。要介護認定者は年々増加しているが、実績は計画値を大きく下回っている。介護給付費の実績も第7期3年間で計画より4億円程度下回る見込みである。

よって、新型コロナウイルスにより通所介護サービスの減少はあったが、継続した取り組みの成果が現れているもので第7期計画はおおむね達成できたと評価している。

②アンケート結果では在宅生活の支援の配食サービスの必要性、同居家族などの介護者は日常生活や認知症状態への対応に不安があった。

町として相談体制を整えるところにも、配食サービスの継続、ケアラー支援事業のさらなる充実を図る。

③町内の介護事業所は、人材確保に苦慮している状況である。

町として、関係団体による「介護人材確保連絡会議」を立ち上げ、介護福祉学校でヘルパー養成研修を実施している。

④現時点ではDVDの作成は考えていないが、新型コロナウイルスにより外出機会が減少している中で、高齢者が地域で集える「通いの場」づくりに取り組む。

質問は要約されています

議会だよりではスペースの都合上、審議した議案や質問・答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。



佐藤則男 議員

戸籍手続

Q：「おくやみコーナー」の設置を

A：現時点では考えていない

議員 栗山町の高齢者人口は、少子化の影響で、さらに上昇する。また、団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には、後期高齢化率が27パーセントに上昇すると推計される。ますます少子高齢化・多死社会が進む現状において、配偶者が高齢となるケースや、世帯構成や家族形態の変化により親族が遠方にいる又は疎遠になるケース等が増え、ご遺族が行う死亡・相続に係る手続きの負担は大きく、複数の部署にまたがり、作成すべき書類も多く煩雑で時間も労力も要する。そこで、この負担を軽減するために、3点についてお伺いしたい。

- ①死亡届出後の手続きの現状と流れについて。
- ②ご遺族に寄り添い、住民サービスの観点から「おくやみコーナー」を設けてはどうか。
- ③ご遺族のための「おく

やみハンドブック」を作成してはどうか。

町長 ①現在、役場庁舎内においてご遺族に関わる窓口を有する主な部署として、住民保健課の他6課所（福祉課・税務課・建設課・上下水道課・産業振興課・農業委員会）がある。死亡届出に來庁された際、手続きに関するご案内一覧をお渡しし、その後の手続きについてご説明を行っている。お手続きの際には、住民保健課及び福祉課での手続きについては、住民保健課窓口にて各担当者が出向き、それぞれ対応しており、必要に応じて、その他の窓口へのご案内も行っている。

②来庁されるご遺族の方の状況により、都度、各課の担当者で連絡を取り、可能なものについては、住民保健課窓口まで担当者が出向いて対応するように努めている。「お

くやみコーナー」の設置については、業務分野が多岐にわたること、内容により個人のプライバシーに係る相談を伴うこと、また、専用スペース

の確保等も必要となることから、現時点においては、設置は考えておらず、今後も、住民保健課の窓口を中心として、各課所連携による親切丁寧

な対応に心掛けていく。③現在、ご遺族にお渡ししているご案内一覧の内容を精査し、より分かりやすい内容となるよう、見直していく。



窓口対応は住民サービスの最前線（おくやみ手続窓口・千歳市）

Q：CD、DVDの充実を

A：利用者ニーズをもとに整備する

図書館



土井道子 議員



図書館のCDコーナーには多様なCDが並ぶ

議員 議員研修を受講して図書館の重要性を説明された。
住民サービスを進め、活力のあるまちづくりのために、次のことを実現できないか。
①文学・歴史などの朗読

CD、昭和の歌謡曲、クラシックのCDを充実を。
②資料収集やデータ作成の作業に、町民が支え合うグループの育成を。
③CD、DVDの貸出・返却の工夫を。

教育長 ①資料収集は、貸出実績などを勘案し計画的に進めている。朗読CDや歌謡曲等の貸出実績は低く、利用者ニーズは少ない状況となっている。今度も、利用者ニーズ等をもとに整備を進めていく。

②資料収集やデータ作成は専門知識やデジタル加工技術が求められることから、図書館司書が中心となって行うことになっている。ボランティアグループの育成は先進事例を調査・研究する。
③CD・DVDは破損や劣化の恐れがあるため窓口返却をお願いしている。返却場所は角田・継立図書館や移動図書館での返却も可能なので、都合のよい場所で返却できる体制となっている。図書館に来ることが難しい方は、郵送での貸出・返却サービスも行っている。

情報発信

Q：アプリ開発を

A：考えていない



町長 2月に公式ホームページをリニューアルした。また、自然環境やグルメ、イベント情報などをお知らせする公式SNS「くりやまほっとらいふ」や母子手帳アプリ「ハグくり」の提供も行っている。

アプリは町が先導して開発することは考えておらず、現在行っている情報発信の充実を図り、多様な情報媒体を活用して発信する。

議員 光ファイバが町内全域に整備されることとなり、町民にとって、インターネットがいつでも身近なものになる。そこで、役場の公的なお知らせだけでなく官民合わせた「まちの情報」をスマホなどで簡単に入手できるアプリを町が先導して開発することができないか。





置田武司 議員

国道234

Q：4車線拡幅へ進捗は

A：国に対し、引き続き要望していく

議員 本年度の町政執行方針で「国・道が管理する道路の整備促進については引き続き関係機関へ強く要請していく」と述べている。商工会議所からは「地域経済の活性化対策など速やかな対応」が要望されている。とりわけ道路網の整備促進、特に国道234号線は、部分的に4車線拡幅が行われているが、岩見沢側は平成19年2月に栗沢拡幅が完成供用後、工事は中断している。現状における問題点と必要性について、三栗線交差点の大型車両の往来、工業団地への車両の出入り、大型店や栗山公園の隣接、などが考えられる。また、栗山中学校の通学路として、朝夕の交通量の多さは、交通事故の発生が懸念される。栗山公園には年間10万人以上の来園者があり、御大師山の周辺整備が完了に伴って来場者の増加が見込まれ

町長 国道234号線は、旭川市を中心とする上川圏域と、新千歳空港や苫小牧港をつなぐ、物資運搬の重要な産業用道路で、また、町民の生活道路としても重要な役割を果たしている。現在、中心市街地における空き店舗解消や賑わい創出を目指す都市再生整備計画事業を推進するなど、さまざまな事業に取り組んでいるが、本町のまちづくり施策に合わせた国道整備について、平成10年より継続して国に要望している。その内容は、右折レーンの設置など、中心市街地への安全な通行

る、将来「道の駅」の設置を視野に入れるとすれば、早期の4車線拡幅が必要であると考えられる。以上のことから、本町における、国道234号線の4車線拡幅計画の進捗について、町長の見解を伺う。



大型車両が多く通るため、注意が必要な道路になっている

を確保する交通安全対策である。最終的には、拡幅整備された各交差点を接続し、4車線化につなげていくという要望戦略を立てている。国の予算配分が全国的に厳しい状況ではあるが、交通安全対策などの問題点の解消、「道の駅」設置も視

野に入れた要請が必要と考えている。なお、国道234号線拡幅整備については、交通安全上、本町のまちづくりにとっても非常に重要な課題であり、引き続き、関係機関と連携し、国に対し粘り強く要望していく。

議会中継をご自宅で見ることができます

議会では、インターネットによるライブ中継（生中継）と録画配信をしています。栗山町議会ホームページからご覧ください。

栗山町議会

検索



ひとこと



「子どもたちと」

きたむら 喜多村 みるみこ 瑠美子さん (継立)

私は栗山町で幼い頃から育ち、それから40年経とうとしています。

長男は4月から高校2年生、次男は小学6年生、そして三男は兄たちも通っていた栗山めぐみこども園を無事に卒園し、継立小学校の1年生になります。

長男が産まれてからの16年以上、毎日の子育てに必死だったように思います。

小さな体調の変化でも大きな病気だったらと心配したり、日々の出来事に一喜一憂しました。

三男の卒園式では1人ずつ、大きくなったらなりたいものの発表がありました。まだまだ小さくて大勢の前できちんと話せるのかと不安でしたが、堂々と発表することができ、そのあと私に「ありがとう」と言ってお花をプレゼントしてくれました。

産まれてからまだ6年しか経っていませんが、これまでの大変だったことやうれしかったことの記憶がよみがえり、涙があふれてきました。

コロナ禍の中、密にならないように感染対策をした中でこのような感動的な式にさせていただけたことに先生方にはとても感謝しています。

日頃から私は子どもたちに、つい口うるさくなってしまいましたが、子どもたちも成長しています。今までの口うるささを反省し、ある程度見守る、そして信頼する。結果を見てからこれはいけなかったとかあれば良かったよ、と言ってあげられるように。

私自身も親として、子どもたちとともに成長していけたらなと思います。

6月定例会の開会日

6月15日～

議会の予定

6月11日(金) 議会運営委員会
6月15日(火) 第6回議会定例会
～18日(金)

※全て9時30分開会予定です

議会の予定は変更になる場合があります。議会事務局または議会ホームページでご確認ください。



議会に行こう！

傍聴 は議会活動に触れる最も身近な方法です。皆さんの選んだ議員の活動や町政の方針などを、ぜひご覧ください。

会議当日の受付で傍聴できますので、役場旧庁舎3階の傍聴席入口までお越しください。

くりやまぎかいだよりNo.167

2021年(令和3年)5月1日発行

発行/北海道栗山町議会

編集/広報広聴常任委員会

〒069-1512

北海道夕張郡栗山町松風3丁目252

Tel 0123-73-7517/Fax 0123-72-1233

<https://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/site/gikai>

E-mail gikai-jimukyoku@town.kuriyama.hokkaido.jp

印刷/山東印刷株式会社

表紙の一枚！



なんでもよく食べて、
はやく大きくなってね！
撮影 土井道子
(場所:栗山めぐみこども園)



広報広聴常任委員会(広報小委員会)

委員長/土井道子 副委員長/佐藤 功

委員/佐藤則男 千葉清己 齊藤義崇 鈴木千逸

ホームページQR



くわしい情報は栗山町議会ホームページへ！

栗山町議会 検索



間伐で未来につなぐ北の森